

Happiness Letter

しあわせのてがみ

ファンド情報提供資料

2021年4月号

未来を共に創る。

YMFG 未来共創ファンド(愛称:ハピネス)

追加型投信／国内／株式

企業探訪 ～株式会社エムビーエス～

知っておきたい『リターン』と『リスク』

運用状況

「ハピネスの投資先の未来共創企業ってどんな企業？」

このような疑問をお持ちの方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

そんな疑問にお応えすべく、「Happiness Letter」では未来共創企業をご紹介します。

皆さまに、未来共創企業のことをより知っていただくため、また、より身近に感じていただくため、代表者に『**事業への想い**』・『**地域への想い**』などをインタビューしました。

今回ご紹介する未来共創企業はこちら！



株式会社エムビーエス

市場 マザーズ 証券コード 1401 業種 建設業
カテゴリ ローカル企業 組入比率 0.87%(2021.3.31時点)
本社 山口県宇部市
主な事業内容
住宅および建造物の外壁・内装の補修・改修工事を行っており、リフォームに関するコンサルティングサービスの提供も行う。

代表者ご紹介

代表取締役社長 山本 貴士

山口県宇部市出身

【略歴】

1993年 1月 足場業を個人創業（屋号 プロジェクトBIGI）
1997年 6月 （有）アクアビギ（現当社）を設立 代表取締役社長
2001年 7月 （株）エムビーエスに組織変更 代表取締役社長（現任）



モットー：夢欲（むよく）

「無欲」ではなく「夢欲」です。

『夢さえあれば生きていける。夢のない生活は寂しいもの。』とおっしゃられていました。夢を持っていれば、その夢を実現させるために、自分を突き動かすことができるという意味が込められた言葉ではないかと感じました。

正に『小さいころから社長になりたかった』という夢を実現された山本社長を表す言葉ではないでしょうか。

次ページは 個人創業から上場へ

※業種は、東証33分類を基に分類しています。 カテゴリはワイエムアセットマネジメントが分類したものです。

※組入比率は純資産総額に対する比率です。表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

※上記は当ファンドの商品性をご理解いただくことを目的として、組入銘柄の一部を紹介したものです。従って、個別銘柄の取引を推奨するものではなく、当ファンドへの組入を保証するものではありません。

※コメントは資料作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。写真は「株式会社エムビーエス」ご提供。

企業探訪

未来共創企業とは・・・ 山口フィナンシャルグループの地盤である山口県、広島県、福岡県の持続的な発展に寄与すると考えられる企業です。

個人創業から上場へ

現在、東証マザーズ、福岡証券取引所Q-Boardに上場する「エムビーエス」。山本社長が個人創業され上場するまでのエピソードをご紹介します。

夢の「社長」への第一歩

山本社長の社会人生活は、横浜の外車ディーラー勤務から始まりました。

しかしながら、小さいころからの夢を叶えるべく、生まれ故郷、かつ、お父様の事業がうまくいかなかったリベンジをするため、『宇部市でやってやろう』と宇部市に戻りました。

まずは、身も心も鍛え直そうと足場業に飛び込んだことで事業（個人創業）がスタートし、夢への第一歩を踏み出しました。



※創業時の山本社長。

出資の打診が殺到！

こうした中で、研究開発費がかさみ、資金不足の危機に直面します。銀行借入以外の資金調達を考えていた時、大前研一氏(株式会社ビジネス・ブレークスルー 代表取締役会長)が主催するビジネスプランコンテストで見事グランプリを受賞。

これを機に、全国のベンチャーキャピタルから出資の打診が殺到しました。

お客さまの不満解消へ

当時、外壁リフォームをされたお客さまがあまり満足できていないことが多かったそうで、足場の組立・解体作業だけでなく、『自分たちで外壁リフォームもやろう』と、研究・開発を進めていくことにしました。

また、マスコミ等の「日本の住宅寿命は欧米に比べて短い」との記事を見るや、リフォーム手法等の勉強のため、特に住宅寿命が長いとされるイギリスへ渡るなど、お客さまの不満解消へ精力的に活動していきます。

当社の技術は必要不可欠に！

鉄道・道路などのコンクリート補修の必要性が高まると考えていた山本社長は、従来の手法(コンクリートの厚増し等)に比べ、容易に施工後のモニタリングができるスケルトン工法(無色透明なコーティング)を開発。他社との差別化を図りましたが、当時は当社の施工実績がないことなどから、大手企業等から採用されませんでした。

しかし、時とともに、トンネルの壁の剥落等が問題となると、当社の技術が徐々に必要とされ始めました。

そんな中、大きな転機が訪れます。

中央道笹子トンネル天井板崩落事故が発生したことを受け、国土交通省が定期的な近接目視による点検を義務化したことにより、スケルトン工法の需要がよりいっそう高まっていきました。

5年後の「株式上場披露パーティー」を予約

「東証マザーズ」が新たに開設されることを受け、『上場企業を作ろう』と一念発起。

自分自身に上場をコミットするため、宇部全日空ホテル(現ANAクラウンプラザホテル宇部)に5年後の「株式上場披露パーティー」を予約しました。

上場までの道のりは、決して平坦ではありません(上記エピソードなど)でしたが、宣言通り、5年後の2005年4月26日福岡証券取引所Q-Boardへ上場し、「株式上場披露パーティー」を盛大に執り行いました。(現在は、東証マザーズへも上場されています。)



次ページは 今後の展開 など

※上記は当ファンドの商品性をご理解いただくことを目的として、組入銘柄の一部を紹介したものです。従って、個別銘柄の取引を推奨するものではなく、当ファンドへの組入を保証するものではありません。

※コメントは資料作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。写真は「株式会社エムビーエス」ご提供。

「当資料のお取扱いにおけるご注意」を必ずご覧ください。

しあわせのてがみ 2

今後の展開

スローガン:『列島リフォーム』

現在22拠点を全国展開されていますが、今後50拠点まで増やされる予定です。これは全都道府県を網羅することが狙いです。

現時点では、鉄道や高速道路のコンクリート補修が多いですが、国道・県道等は道路網の70%を占めており、これらの道路のコンクリート補修もこれからは必要性が増してくるのと考えから、マーケットとしては今後も大きくなっていくと見通されています。

今後も更なる全国展開を予定されている山本社長に「人材育成」について伺いました。

人材育成

「人手不足」解消のために ～育成①～

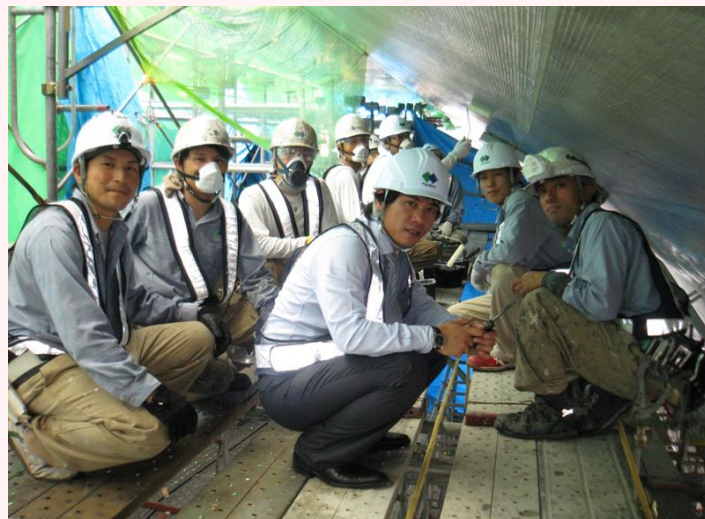
当社内での育成に加え、塗装業者等を「認定施工店」として当社のノウハウを伝え、当社の技術を施工できる人材の育成も進めています。

また、今後は「外国人労働者」がキーワードだと。

将来的には、外国人労働者を「手」として雇用するのではなく、生活拠点を提供し、そこで日本文化など仕事以外の教育も行っていきたいとのこと。

これをまずは山口県で実施し、他の地域でも活用できるようノウハウを構築していきたいと考えています。

「人手不足」は建設業界だけに留まらない問題のため、当社の取組が今後注目を集めるのではないのでしょうか。



※技術指導中の様子

「任せる」経営 ～育成②～

『入社者が「当社の社長になりたい」と思えるような会社にすることが使命』と考えている山本社長。

自分自身が支店長と仮定したとき、自分より偉い人が自分の支店に出入りすることに違和感があるとのこと。支店には出入りしないことにしているとのこと。

支店経営を完全に「任せる」ことで未来の経営者を育成しているのだと感じました。

もちろん、会社や社長の考えについては、本部からの情報発信や四半期に1度開催される全体営業会議において、現在の状況やこれから目指すことを社長から直接伝えていきます。

イメージを打破するために ～採用～

『建設業界は不人気業種』とおっしゃられる山本社長。実際に当社への入社を希望する方がご家族等の反対により就職がままならないこともあるそうです。

「建設業はきつい」とか「ベンチャー企業は当たればいいけど」といったマイナスイメージの影響があるということです。

そこで、誰が見ても当社の業績や財務内容に安心してもらえるよう、経営を進めてきました。

特に財務内容は、誰もが知っている大手情報・通信企業にも負けないと自負されています。

次ページは 地域への想い

※上記は当ファンドの商品性をご理解いただくことを目的として、組入銘柄の一部を紹介したものです。従って、個別銘柄の取引を推奨するものではなく、当ファンドへの組入を保証するものではありません。

※コメントは資料作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。写真は「株式会社エムビーエス」ご提供。

インタビューの最後に「地域への想い」について伺いました。

地域への想い

宇部市のために外貨を稼ぐ

社長自身、宇部市出身ではありませんが、幼いころお父様の事業がうまくいかなかったことなどから、『宇部市がもと好きかと言われれば逆』とおっしゃられていました。

しかし、地方で活躍している同世代の人たちは、東京に本社を移すなど、地方から離れていっているのを目の当たりにしながらも、社長は宇部市を本社のままとし、宇部市本社に誇りを持っているとのこと。

また、社長は『地方に対して外貨を稼いできている』という言い方をされています。どういうことでしょうか。これは、当社の宇部市での売上は数%程度で残りは他の地域での売上です。『他の地域で稼いだお金を買い物などの消費で宇部市に還元する』ということを意味しています。

生まれ育ったところや事業を始めたところに根を生やしてしっかり経営していき、消費等で地域に貢献していくことが今後の地方経営者に求められる姿だと考えているとのことでした。

(ご参考) 業績動向・株価推移

【直近3年の決算概要と配当実績】

(単位：百万円)

		2018/5期	2019/5期	2020/5期
売上高		3,017	3,340	3,345
営業利益		311	313	283
当期純利益		285	301	227
1株当たり配当額 (円)	(中間決算)	0	0	0
	(期末決算)	0	0	0
	合計	0	0	0

(円) (期間：2016年4月1日～2021年3月31日)



(出所) Bloombergデータを基にワイエムアセットマネジメント作成

インタビューを終えて

今回のインタビューは、コロナ禍ということもありオンラインでの実施となりました。山本社長には個人創業から上場までの貴重なエピソードなどをお話いただきました。

「夢欲」という言葉通り、「列島リフォーム」という「夢」に向けて今も、これからも走り続ける、そんな強い意志を感じました。またそれと同時に、私自身の夢は何かと考えさせられる機会にもなりました。

皆さまの未来共創企業の理解を深める一助となりましたら幸いです。

「YMF未来共創ファンド」(愛称：ハピネス)では、このように地域の持続的な発展に寄与すると考えられる企業を応援してまいります。引き続き、ご愛顧の程、よろしくお願い致します。

末筆ではございますが、大変お忙しい中、山本社長をはじめエムビーエスの皆さま、インタビューにご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

(担当 畠山)

※上記は当ファンドの商品性をご理解いただくことを目的として、組入銘柄の一部を紹介したものです。従って、個別銘柄の取引を推奨するものではなく、当ファンドへの組入を保証するものではありません。

※コメントは資料作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

「当資料のお取扱いにおけるご注意」を必ずご覧ください。

知っておきたい『リターン』と『リスク』

ちょっと難しい、だけどコレが分かればもう投資信託選びは迷わない？

投資信託をお持ちの方もそうでない方も耳にされたことがあるのではないのでしょうか。

「ローリスク・ローリターン」や「ハイリスク・ハイリターン」

ここで言われている「リターン」と「リスク」とはいったいどのようなものなのでしょう。

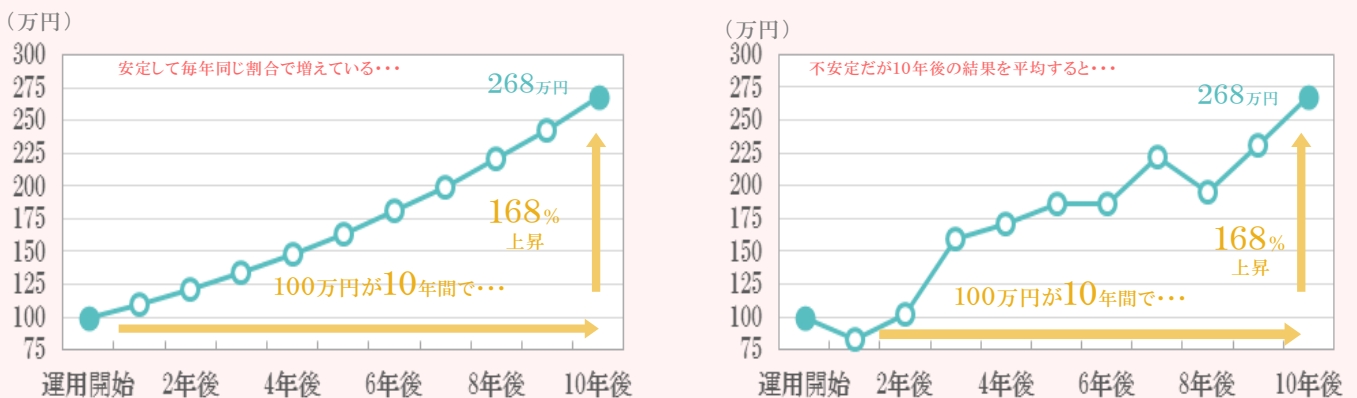
1.リターンとは

リターンは「収益率」

リターンについて、一言で言うならば、リターンは「収益率」のことを言います。

リターン(収益率)とは、投資をした際にどれだけ上がったか、下がったかを数字で表したものです。

それでは、次の2つのグラフをご覧ください。



2つのグラフはともに10年間で100万円が268万円になりました。左側のグラフは一定の割合で増えているのに対して、右側のグラフは上下変動を繰り返しながら増えています。

この時の10年間のリターン(収益率)は、それぞれいくらでしょうか。

意外に思われるかもしれませんが、実は両方のグラフともに**年率10.4%**になります。

2つのグラフは10年後の金額が同じであるため、リターン(収益率)は同一となります。

では、何が違うのかというと、268万円に達するまでの値動きです。この値動きの違いを説明する為の数値が、**リスク**になります。

2.リスクとは

リスクは「リターンの振れ幅」

資産運用における「リスク」は、「損をする」という意味ではない

次はリスクについてです。リスクを一言で言うならば、「リターン(収益率)の振れ幅」のことを言います。

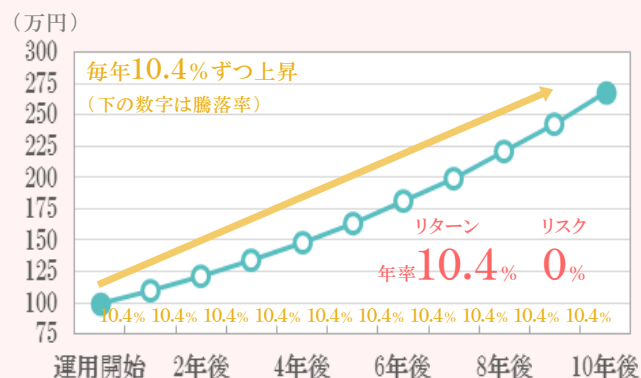
一般的に「リスク」と聞いたとき、「危険」という単語が浮かぶと思います。

そこから資産運用においても、「損をする」可能性を連想しがちですが、実際は「リターン(収益率)の振れ幅」のことを言います。

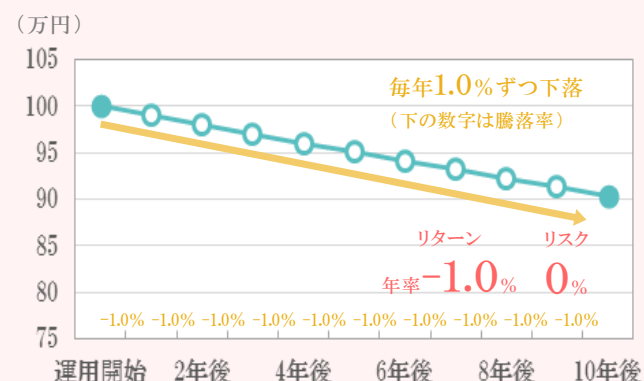
では、先ほどのグラフを使って見てみましょう。

知っておきたい『リターン』と『リスク』

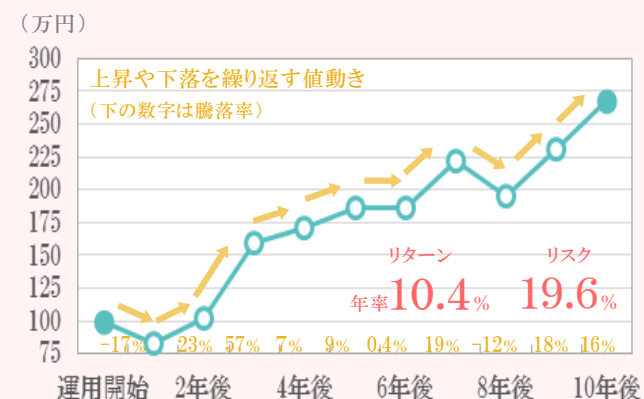
まずは、一定の割合で上昇していたグラフです。
こちらは、リターンの年率10.4%と比較して、
1年毎の騰落率も毎年10.4%と振れ幅はありません。
このため、リスクは「0」となります。



それでは、一定の割合で下落した場合はどうなる
でしょうか。
この場合も、リターンの年率-1%と比較して、
1年毎の騰落率も毎年-1%と振れ幅はありません。
ということは、リスクは「損をする」可能性のことではなく、
リターンの振れ幅ですので、この場合もリスクは「0」
となります。



続いて、上下変動のあったグラフの場合はどうなる
でしょうか。
リターンの年率10.4%と比較すると1年毎の騰落率に
バラつき（振れ幅）があります。
この振れ幅を数値で表したものが「リスク」ですので、
この場合はリスクは「19.6%」となります。



ただ実際に、投資信託などの金融商品で資産運用する場合、一定の割合で上昇（下落）することは稀です。
上のグラフのように値動きは上下変動を繰り返していきますので、「リターン」と「リスク」、これらの数値を活用
していくことが大切になります。

3. リターンとリスクを見て投資判断を

リスクの数値が大きいほど、値動きは不安定になる

リスクはリターンの振れ幅を表していますので、リスクの数値が大きいほど、値動きは不安定になりますが、
先ほどのリスク「19.6%」という数値が大きいのか小さいのか、どのように判断すればよいのでしょうか。
実は、リターンとリスクの数値を活用することである程度値動きを予測することができます。
次ページで実際に見てみましょう。

知っておきたい『リターン』と『リスク』

「リスク」は「標準偏差」とも言われ、統計的にデータを扱うときに便利な数字となります。

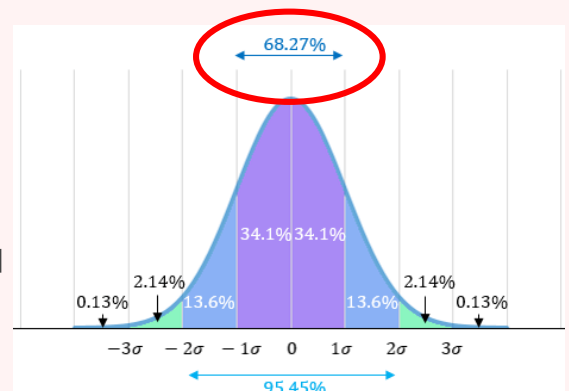
統計学では、「平均値±標準偏差」の範囲に収まる確率が約68%になることが知られています。

ということか、先ほどのリターン「年率10.4%」とリスク「19.6%」を当てはめてみます。

「平均値±標準偏差」=「10.4%±19.6%」

となりますので、**-9.2%~30.0%**の間に収まる確率が約68%ということになります。

例えば、この商品に100万円投資したとすると、90万8千円~130万円の間に約68%の確率で収まるということが言えます。



では、次に右のグラフをご覧ください。

これらは、ある指数を2010年12月末時点をもとに100とした場合の2020年12月末までの推移です。

皆さまがこの3つのうちのどれかで資産運用をするとした場合、どの指数で運用されますか。

指数①の10年間で168%上昇(年率10.4%)したものでしょうか。

指数②の10年間で57%上昇(年率4.7%)したものでしょうか。

指数③の10年間で17%上昇(年率1.6%)したものでしょうか。

皆さまはどの指数を選ばれたでしょうか。

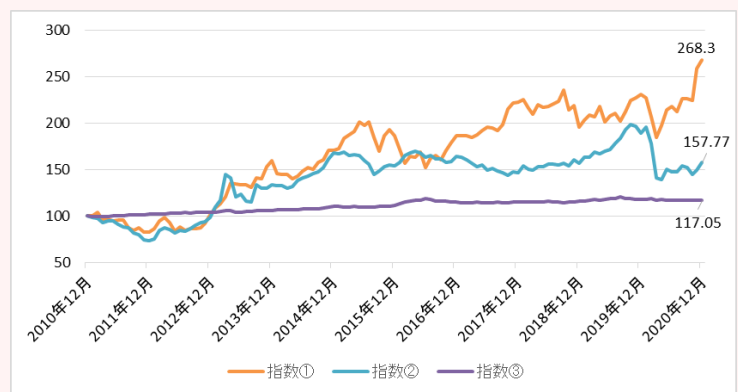
実は、これらの指数は国内を代表する株式指数、リート指数、債券指数を用いたものです。

どの指数を選んでも正解、不正解があるわけではありません。

皆さまの金融商品を検討する際のイメージ作りにご活用していただきたいと考え、3つの指数を並べてみました。

このように、リターンとリスクを活用して、各金融商品の値動きのイメージを掴んだり、ご自身のリスク許容度の範囲内かどうかの目安にしたりとすることができます。

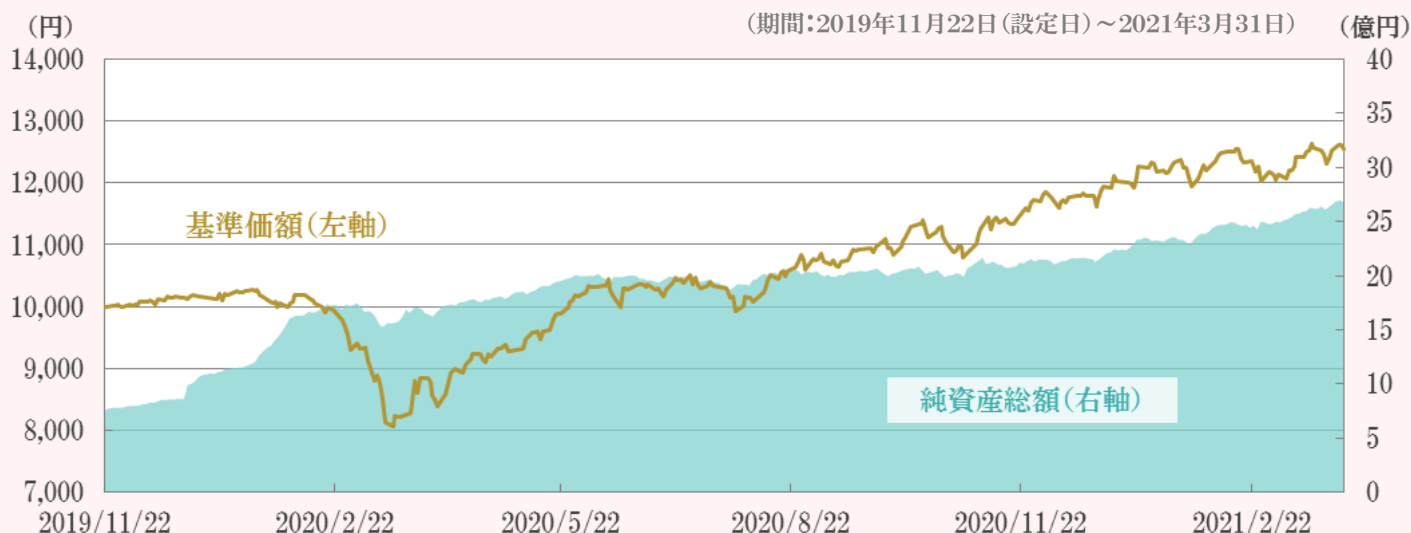
ただし、リターンとリスクともに過去の実績に基づいて算出されたものですので、将来にわたって必ずこのような動きをするものではありませんので、金融商品を検討する際の材料の一つとしてください。



	指数①	指数②	指数③
リターン (年率、%)	10.4	4.7	1.6
リスク (年率、%)	19.6	20.7	1.3
約68%の 確率で収まる 範囲(%)	-9.2 ~ 30.0	-16.0 ~ 25.4	0.3 ~ 2.9

運用状況 (2021年3月31日時点)

基準価額、純資産総額の推移

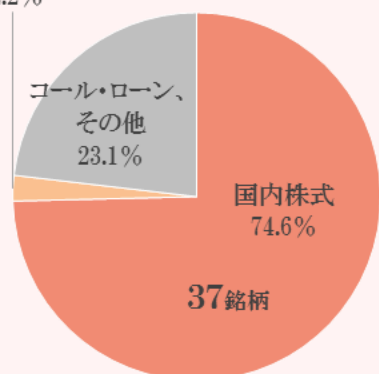


ポートフォリオの状況

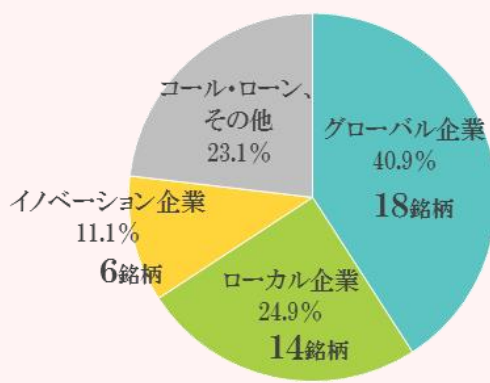
資産別構成比率

不動産投資信託等
2.2%

1銘柄



カテゴリー別比率



業種・資産比率

順位	業種・資産	比率
1	サービス業	13.1%
2	化学	11.7%
3	機械	8.6%
4	建設業	7.2%
5	陸運業	4.3%
6	小売業	4.2%
7	精密機器	4.1%
8	ゴム製品	3.8%
9	輸送用機器	3.2%
10	繊維製品	3.0%
	その他業種、資産	13.8%
	コール・ローン、その他	23.1%

組入上位10銘柄

順位	銘柄名	銘柄コード	銘柄カテゴリー	業種・資産	組入比率
1	テルモ	4543	グローバル企業	精密機器	4.07%
2	ユニ・チャーム	8113	グローバル企業	化学	4.01%
3	ディスコ	6146	グローバル企業	機械	3.63%
4	ローツェ	6323	グローバル企業	機械	3.50%
5	東ソー	4042	グローバル企業	化学	3.40%
6	カカクコム	2371	イノベーション企業	サービス業	3.35%
7	シマノ	7309	グローバル企業	輸送用機器	3.25%
8	ウェストホールディングス	1407	ローカル企業	建設業	3.21%
9	山九	9065	グローバル企業	陸運業	3.16%
10	エフピコ	7947	ローカル企業	化学	3.06%

- ・基準価額は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。
- ・業種は、東証33業種による分類です。
- ・比率は純資産総額に対する比率です。
- ・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。その為、合計が100%にならない場合があります。
- ・「ローカル企業」、「グローバル企業」、「イノベーション企業」はワイエムアセットマネジメントが分類したものです。
- ・上記は、過去の実績・状況または作成時点での分析であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

ファンドの目的

わが国の株式等の中から、未来共創企業の株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざします。

ファンドの特色

1. 未来共創企業の株式等に投資を行ないます。 ※株式等にはリート(不動産投資信託)を含みます。

未来共創企業とは・・・ 山口フィナンシャルグループの地盤である山口県、広島県、福岡県の持続的な発展に寄与すると考えられる企業です。

大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

2. 毎年10月23日(休業日の場合翌営業日)に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

分配方針

- 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。
- 原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

投資リスク

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク(株価の変動、中小型株式への投資リスク、リートの価格変動)」、「その他(解約申込みに伴うリスク等)」

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※ くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

【当資料のお取扱いにおけるご注意】

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするためにワイエムアセットマネジメントが作成したものです。当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。

ファンドの費用・販売会社一覧

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドの費用

◇お客さまが直接的に負担する費用

	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が定める率 <上限>2.2%(税抜 2.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—

◇お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.100% (税抜 1.000%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
配分 (税抜) (注1)	委託会社	年率 0.480%
	販売会社	年率 0.480%
	受託会社	年率 0.040%
その他の費用・手数料	(注2)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注1)「運用管理費用の配分」には、別途消費税等を乗じた額がかかります。

(注2)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問い合わせください。

※ 手数料等の合計金額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

販売会社一覧(2021年3月31日時点)

※投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

販売会社(業態別、50音順) (金融商品取引業者名)	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会
株式会社北九州銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第117号	○	○	
株式会社もみじ銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第12号	○	○	
株式会社山口銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第6号	○	○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第8号	○		

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。

設定・運用



ワイエムアセットマネジメント

商号等 ワイエムアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第44号

加入協会 一般社団法人投資信託協会